

1 障害について

1-1 視覚障害とは

①視力

0.01以下の視力は、指数弁・手動弁・光覚
全盲・弱視(ロービジョン)、先天盲・中途失明(中途障害)など

②視野

人間の視野は、片眼で約160度、両眼で約200度。
中心で、文字などの静止した物を感知し、周辺で動きを感知する。
視野狭窄、視野欠損、中心暗転など。

③色覚

以前は色盲・色弱と言っていたが、現在は、色覚異常・色覚障害・色覚特性など
という。
赤緑色覚異常は、日本人男性で20人に1人、女性で500人に1人といわれる。
他に、青黄色覚異常もある。

④視覚認知

視覚機能には問題ない。

1-2 見えない見えにくいことでの障害

①行動(移動)

白杖、盲導犬、ガイドヘルパー(外出補助者)との歩行。

②情報

点字、拡大文字による読み書き
読書補助具の使用
オーディオ器機・パソコンなどの使用
対話による情報

③コミュニケーション

互いの遠慮や偏見
視覚障害者へのあいさつ
視覚障害者との会話にタブーはあるのか?

1-3 障害の発症時期と程度による違い

①幼少時期から

②成人後

③高齢になってから

1-4 視覚障害以外の読書障害

①盲聾者

②本の固定ができない、ページがめくれない肢体障害者

③瞼を開けておくことが難しい障害者

④文字の読み書きに困難を持つ学習障害者

⑤読書するための集中ができない精神障害者

- ⑥高齢者
- ⑦その他

2 様々な資料と設備

2-1 触覚による情報

- ①点字資料（図書・雑誌）
 - Ｌ点字、漢点字（８点）、６点漢字、１級英語点字（フルスペル）、２級英語点字（略字・略語）、点図
- ②点字データ
 - ファイル名の拡張詞、b e s ・ b e t ・ b s e ・ n a b ・ b l e ・ b l s など。
- ③点字つき資料
 - 点字と墨字が併記されていたり、同内容で合本されている。
 - 絵本としては、点字つきさわる絵本・ユニバーサル絵本・バリアフリー絵本など。
- ④点訳絵本、さわる絵本、布の絵本
- ⑤サーモフォーム、立体コピー
- ⑥立体模型
 - ア. 点字器（６点用・８点用）、点字タイプライター（６点用・８点用）
 - イ. 点字プリンター、点字ディスプレイ
 - ウ. レーズライター、立体コピー機
 - エ. 点字案内板、点字サインなど
 - オ. 視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）

2-2 音による情報

- ①朗読カセット、朗読ＣＤ、その他音響ソフト
- ②音訳カセット（標準速、半減速）、音訳ＣＤ、デイジー（音声のみ）
- ③マルチメディアデイジー
- ④音響データ
 - デジタル・オーディオブック、インターネット配信による各種音響データなど
- ⑤音声解説付（副音声付）映像ソフト
 - ア. 視覚障害者用カセットテープレコーダー
 - イ. デイジー再生機、デイジー録音機
 - ウ. デイジー再生ソフトウェア、デイジー録音編集用ソフトウェア
 - エ. 各種デジタルオーディオ機器
 - オ. 視覚障害者用誘導チャイム、音標識
 - カ. 音声による案内板

2-3 文字による情報

- ①大活字本
- ②拡大写本、ハイテク拡大写本
- ③テキストデータ（*.txt）
- ④その他、電子データ
- ⑤音声コード（２次元コード）付資料
- ⑥各種ホームページ、データベース
 - ア. 拡大鏡、ルーペ、単眼鏡
 - イ. 拡大読書器
 - ウ. 音声拡大読書器
 - エ. 視覚障害者用パソコンシステム
 - 画面拡大ソフト、画面音声化ソフト、画面点字化ソフトなど

- オ. 音声コード再生器
- カ. 見やすく分かりやすいサイン表示
- キ. 照明機器

3 サービスのいろいろ

3-1 貸出サービス

貸出方式として、来館、郵送、宅配などがある。
郵送貸出を行うには、日本郵便の特定録音物と障害者用ゆうメール（図書館用ゆうメール）発受施設の手続きを行うとよい。
図書館用郵メールで半額扱いにできるのは、視覚障害では1・2級の者であり、図書・雑誌・AV資料が対象。3級以上は、通常料金となる。
視覚障害者に対し、無料で郵送できるのは、点字資料、録音資料、点訳絵本、さわる絵本となる。発受施設同士も可能。
自館所蔵がなくとも、相互貸借により提供できる。

3-2 対面朗読

利用者主体とした用語として、対面読書、対面リーディングを使用する館が増えている。
対面朗読は、福祉サービスではなく、資料閲覧を保障する一つの方法であり、図書館理念を実現させるためのサービスである。
新しい図書館の多くは、対面朗読室を設置しサービスを開始するが、既存の図書館でも希望の利用者がいれば、サービスの検討を行うべき。施設設備がなくとも、利用者の了解が得られれば、事務室の片隅や休憩室、集会室などでも可能。
利用方法として、事前予約制の館が多いが、読み手が常駐し予約なしで利用できる館もある。館により利用条件は異なる。
読み手は、職員、協力者、ボランティアなどが行う。
通信機器の発達により、今後は利用者が在宅で利用できる可能性もでてきている。

3-3 読み書きサービス

短時間ですむ代読や、書類への代筆を必要とするもの。
現在は、一部の点字図書館等で行われている。
障害者自立支援法のコミュニケーション支援として期待されているサービス。

3-4 プライベートサービス

利用者所有の資料を、希望の媒体で製作し提供すること。
著作権法の改正により、点訳以外も著作権者の許諾が不要となる。
また、著作権法第37条により製作した物は、複写しての譲渡も可能となる。
図書館蔵書による製作依頼は、リクエスト製作として区別する。

3-5 来館者へのサポート

最寄り駅やバス停までの送迎
書架案内、館内移動補助
対面検索（代行検索）
資料の簡易な読み上げ
その他

4 PR

4-1 直接PR

各種媒体での利用案内の作成配布（墨字、拡大文字、点字、カセットテープ、デ
イジー、テキストデータ、音声コードつきなど）
図書館ホームページなどへの案内掲載
視覚障害者対象の図書館見学
視覚障害者団体・施設等での図書館案内
視覚障害者対象雑誌などへの情報掲載

4-2 間接PR

障害者サービス周知チラシの作成配布
図書館ホームページなどへの案内掲載
障害者サービス資料の開架、展示
図書館見学での障害者サービス紹介
自治体広報誌への案内掲載
障害者関連のイベント開催
職員向け研修やPR

5 最後に

定型サービスのみを行う図書館は、利用者の減少につながる。
利用者が増えれば、図書館への要求も増える。
一人一人の利用ニーズに応じていくことにより、図書館は育っていく。
利用者のニーズを聞き取り、どのような利用につなげるか、有益な情報を提供でき
るか、担当者の腕のみせどころ。
担当者だけがサービスを行うのではなく、利用者対応は全職員が対応し、担当者へ
繋ぐ。

6 参考資料

- ①「視覚障害者サービスマニュアル -情報のバリアフリーをめざす図書館のために-
2007」 近畿視覚障害者情報サービス研究協議会編 読書工房 2006
- ②「すすめ!対面朗読 -すべての図書館のための対面朗読マニュアル-」 図書館問題
研究会障害者サービス委員会編 図書館問題研究会東京支部 1995
- ③「知っていますか?視覚障害者とともに一問一答」 楠敏雄、三上洋、西尾元秀編著
解放出版社 2007
- ④「ロービジョン Q&A」(ロービジョンらいぶらりー) ロービジョン Q&A 編集委員会
編 大活字 2004
- ⑤「視覚障害者のための最新情報機器&サービス 2006」 大活字 2005
- ⑥「イラストでわかる視覚障害者へのサポート カラー版」 国際視覚障害者援護協
会編 読書工房 2009
- ⑦「ブックナビ視覚障害がわかる本 273冊」 桜雲会/編 桜雲会 2008
- ⑧「著作権マニュアル -見えない・見えにくい人への情報提供サービス- 2008 新版」
全国視覚障害者情報提供施設協会サービス委員会著作権プロジェクト/編 全国資格
障害者情報提供施設協会 2009
- ⑨「あなたにもできる拡大写本入門-広げよう大きな字-」 山内 薫著 大活字 1998
- ⑩「点訳絵本のつくり方 増補改訂第3版」 岩田 美津子著 せせらぎ出版 2005
- ⑪「手作り布の絵本・さわる絵本 改訂 -その明日のために-」 布の絵本研究連絡会
編 偕成社 1980
- ⑫「Q&A バリアフリー新法-高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の
解説-」 国土交通省総合政策局政策課・交通消費者行政課/監修 ぎょうせい 2007

表 1 身体障害者福祉法施行規則別表第 5 号
身体障害者障害程度等級表（視覚障害）

級別障害内容

- 1 級 両眼の視力（万国式試視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力について測ったものをいう。以下同じ。）の和が 0. 0 1 以下のもの
- 2 級 1 両眼の視力の和が 0. 0 2 以上 0. 0 4 以下のもの
2 両眼の視野がそれぞれ 1 0 度以内でかつ両眼による視野について視能率による損失率が 9 5 % 以上のもの
- 3 級 1 両眼の視力の和が 0. 0 5 以上 0. 0 8 以下のもの
2 両眼の視野がそれぞれ 1 0 度以内でかつ両眼による視野について視能率による損失率が 9 0 % 以上のもの
- 4 級 1 両眼の視力の和が 0. 0 9 以上 0. 1 2 以下のもの
2 両眼の視野がそれぞれ 1 0 度以内のもの
- 5 級 1 両眼の視力の和が 0. 1 3 以上 0. 2 以下のもの
2 両眼による視野の 2 分の 1 以上が欠けているもの
- 6 級 一眼の視力が 0. 0 2 以下、他眼の視力が 0. 6 以下のもので、両眼の視力の和が 0. 2 を超えるもの

表 2 関連ホームページ一覧

①視野狭窄体験 HP メニュー

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/nobusan/pinhole/>

②SP Code Official Homepage

<http://www.sp-code.com/>

③活字文書読み上げ装置「テルミー」

<http://www.telme.jp/>

④「日本漢点字協会」

<http://kantenji.jp/>

⑤点字絵本の会

<http://www.pikara.ne.jp/tenjieshon/>

⑥視覚障害者読書支援協会

<http://bba-book.net/>

⑦てんやく絵本 ふれあい文庫

<http://homepage1.nifty.com/fbunko/>

⑧ ふきのとう文庫

<http://www.community.sapporocdc.jp/comsup/fukinoto/>

⑨音声図書館

<http://www.onsei.jp/indexD.html>

⑩日本ライトハウス「視覚障害者生活支援情報データベース」へようこそ

<http://125.102.96.89/lightsearch2/Top.aspx>

⑪国立国会図書館視覚障害者等への図書館サービス

<http://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual.html>

⑫ないーぶネット 全国視覚障害者情報提供施設協議会

<https://www.naiiv.gr.jp/HTMTOP01.shtml>

⑬東京都公立図書館 録音・点訳図書、拡大写本新作情報

<http://www.library.metro.tokyo.jp/16/16800.html>

⑭近畿視覚障害者情報サービス研究協議会

<http://www.lnetk.jp/>

⑮びぶりおネット（インターネットで録音図書が聴けます）

http://www.iccb.jp/biburio/biburio_main.html

⑯DVD音声解説CDの貸出しサービスのご案内

<http://www.nittento.or.jp/kasidasi/DVDinfo.htm>